

平成 30 年 10 月 30 日

## 政務活動研修報告書

下記のとおり、研修会等に参加しましたので、宍粟市議会政務活動費の用途に関する要領第 6 (7) の規定により報告します。

### 記

1. 研修日時	平成 30 年 10 月 15 日 (月)
2. 研修先	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市唐津 2 丁目 13 番 1 号)
3. 研修参加者	榎橋 美恵子 (公明市民の会)
4. 主催者	全国市町村国際文化研究所 (国際文化アカデミー)
5. 講師等の氏名 及び略歴	(講師氏名及び演題等を記載) 神戸市長 久元喜造 「人口減少時代の大都市経営」 ㈱気仙沼ニッティング 代表取締役社長 御手洗瑞子 「“いいもの”を編む～気仙沼ニッティングの挑戦～」
6. 研修目的	人口減少時代は続きます。市政のあり方、豊かなまちをどう考えていくか参考になればと思い参加。また、震災があり大変な地域がどう変わっていったのかを学ぶため、そこに住む人がどう元気で前向きにがんばるかを学ぶため。
研修内容	<u>久元喜造 氏</u> 行政改革のために、平成 7 年から平成 27 年までに職員を 33% 減らした。今、また外部の目を入れて、業務分析して、人員の配置を行っている。また、すべてのものの無駄をチェックする。財政指数を上げていきたい。“まち”を豊かに、行き詰まりがないような持続可能な都市にしたい。 認知症対策にも力を入れている。診断を受け、認知症の疑いがあると、集中支援チームに繋げていく。今、認知症のために補償問題が発生し、家族が大変な目に合うことが最近起きている。そんな時に助け合っていくため、保険に入っていて、 “いざ” というときに役立つのではないかと救済制度を設けている。また、介護をしながら働いている職員のために対策をと思い、在宅勤務制度のプランをまとめているところだと。

<p>研修内容</p>	<p>御手洗 瑞子 氏</p> <p>2010年9月からブータン政府の初代首相フェローとして勤めていたが、東日本大震災が起り、東北復興に携わるために帰国し、気仙沼市で貢献できることは何かと模索する中、2012年に高品質の手編みセーターやカーディガンを届ける「気仙沼ニットィング」の事業立ち上げに参画、胸を張って仕事をしてもらいたい。稼いで生きてもらいたい。まちを元気にしたい。そこで思いついたのが、手編みのセーターだった。まず、編める人を探した。4人いた。この人数でスタートさせた。15万円もするセーターを手掛けた。売れるかと心配の中の応募だったが、なんと97人の応募があり本当にびっくりでした。編める人を更に探し、今では70人まで広げることができている。今はセーターを待つてくださる方が320人待ちだそうです。その人に合った働き方をしてもらっている。週1回、編み会に参加してもらい、後は家で編んでもらっている。がんばったらその分儲かる。ゆとりのある暮らし、こころが豊かになった。納税者が増えたことはよかった。まちに元気がでた。</p> <p>働き方改革をしながら、地域しごと創政の即戦力ともなっていると。</p>
<p>考 察</p>	<p>(研修を通して宍粟市に於ける可能性や問題点などを考察する)</p> <p>神戸市のように、市役所の業務分析をして人員の配置を考えていく必要があるかと思う。余っている部署はないか、足りない部署はないか検証をして頂きたい。気仙沼のように主婦が女性が家において稼いでいけたら、まちも豊かになる。住みやすいまちにもなるのではないか。何をするかは大きな課題ではある。</p> <p>調査・研究を続けていきたい。</p>

【添付書類】研修会受講状況写真（可能であれば添付）

トツツマイズメントセミナー

座席は自由席です。  
資料のある席にお座りください。

